議第190号 公の施設の指定管理者の指定について

1 趣旨

呉市文化ホール及び呉市民ホールの指定管理者を地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項の規定により、あらかじめ呉市議会の議決を経て、指定しようとするものです。

2 公の施設の概要

(1) 呉市文化ホール

施設所在地	呉市中央3丁目10番1号
設置年月日	平成元年9月20日
設置目的	芸術・文化の振興を図るための施設として設置する。
設置条例	呉市文化ホール条例
施設規模等	敷地面積 4,293.57㎡ 延べ面積 14,393.10㎡ 構造・階数 鉄筋コンクリート造，地下2階地上4階建て 主要施設 ホール（収容人員1,802人），多目的室，展示室（2室），リハーサル室，練習室（3室），楽屋（5室），控室，レストラン，駐車場
利用状況	利用者数 令和3年度 49,185人 令和4年度 97,903人 令和5年度 108,990人
指定管理業務に係る主要な決算の状況	令和5年度 【呉市分】 歳入 0千円 歳出 192,045千円 指定管理料 189,812千円 備品購入費 2,233千円 【指定管理者分】 収入 238,759千円 支出 237,854千円 ※指定管理者の収支決算詳細については，別添「指定管理業務収支状況報告書」（参考資料2）を参照
指定管理実績	平成27年4月1日～令和2年3月31日 公益財団法人呉市文化振興財団 令和2年4月1日～令和7年3月31日 公益財団法人呉市文化振興財団

(2) 呉市民ホール

施設所在地	呉市中央4丁目1番6号
設置年月日	平成28年3月5日
設置目的	市民の文化・芸術活動の振興及び市民交流の促進を図るための施設として設置する。

設 置 条 例	呉市民ホール条例
施設規模等	延 べ 面 積 2, 7 5 5 . 4 6 m ² 構造・階数 市役所庁舎のうちホール棟（鉄骨造，3階建て）及び公用車駐車場棟（鉄骨造一部鉄筋コンクリート造，6階建て）の一部 主要施設 ホール（収容人員624人），主催者控室，楽屋（4室）
利用状況	利用者数 令和3年度 41, 447人 令和4年度 45, 574人 令和5年度 47, 983人
指定管理業務に係る主要な決算の状況	令和5年度 【呉市分】 歳入 11, 700千円 光熱水費 11, 700千円 歳出 76, 022千円 指定管理料 55, 729千円 委託料（清掃，保守管理，警備等） 8, 593千円 需用費（光熱水費） 11, 700千円 【指定管理者分】 収入 63, 816千円 支出 63, 908千円 ※指定管理者の収支決算詳細については，別添「指定管理業務収支状況報告書」（参考資料3）を参照
指定管理実績	令和2年4月1日～令和7年3月31日 公益財団法人呉市文化振興財団

3 指定管理者の業務の範囲

(1) 呉市文化ホール

- ア 施設，設備等の維持及び管理に関する業務
- イ 次に掲げる事業に関する業務
 - (ア) 芸術・文化の鑑賞及び創造のための事業
 - (イ) 市長が必要と認める事業
- ウ 使用の許可に関する業務
- エ 上記の業務に付随する業務

(2) 呉市民ホール

- ア 施設，設備等の維持及び管理に関する業務
- イ 使用の許可に関する業務
- ウ 上記の業務に付随する業務

4 指定期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで（3年間）

5 団体（候補者）の概要

団 体 名	公益財団法人呉市文化振興財団
団体所在地	呉市中央3丁目10番1号
代表者氏名	理事長 明神 博
設立年月日	昭和57年4月19日
設 立 目 的	市民の文化芸術活動の振興に関する事業を行い，市民文化の向上，発展に寄与することを目的とする。
事 業 概 要	(1) 呉市文化ホール及び呉市民ホール等における文化芸術振興事業 (2) 呉市立美術館における文化芸術振興事業 (3) 施設利用者サービス事業 (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
資 本 金	269,448千円
従 業 員 数	30人
役 員	評 議 員 阿 原 亨 片岡 慶行 川野 祐二 佐藤 光子 川畑 勝之 寺本 有伸 向井 淳滋 元中 裕子 理 事 長 明 神 博 副理事長 賀谷 隆太郎 常務理事 小松 良三 理 事 黒瀬 基郎 神津 直 小谷 眞喜子 福岡 幸恵 古川 竜彦 柳曾 隆行 多田 博 大野内 愛 堀口 悟史 監 事 小松 史洋 出本 宏
決 算	令和5年度 収入 422,016千円 支出 422,004千円

6 団体（候補者）から提出された事業計画書の概要

管理運営上の基本方針	文化芸術の振興及び市民交流の促進を図るため，条例で定める設置目的や呉市文化振興計画に定める施策展開の方向性等を踏まえ，市民に質が高く，また多様な実演芸術（実演により表現される音楽，舞踊，演劇，伝統芸能，演芸その他の芸術及び芸能）に親しむ機会を提供する。
管理運営体制	呉市文化ホール，呉市民ホールそれぞれに館長1名を配置する。加えて，呉市文化ホールは職員14名，呉市民ホールは職員6名を配置する。
施設の維持管理	(1) 舞台機構や照明・音響設備・大型電気設備など専門的技術者による点検が不可欠な設備については，当該ホールの設備に精通した経験豊富な信頼できる業者へ委任を行い，県内有数の規模の施設に対応した維持管理を行う。 (2) 舞台管理業務については，舞台設備・照明設備・音響設備・舞台芸術に

	<p>に精通し、経験豊富であり、かつ、利用者・舞台従事者への適切な指導・助言が行える業者に委託する。</p> <p>(3) ホール清掃業務、ホール警備業務等のマニュアルに沿った点検を行い、あわせて日常・週次・月次の巡回による異常の発見の取組を継続実施する。</p> <p>(4) 主催事業では、看護師を配置し、利用者の体調異変に対応できる体制を取る。</p>
利用促進の取組	<p>(1) マスメディア等との共催事業について、誘致のための営業活動を積極的に行い、上質な音楽公演等の舞台芸術や、市民の要望に応える話題性のある実演芸術等の鑑賞機会の提供を行う。</p> <p>(2) 大規模ホールである呉市文化ホールと中規模の呉市民ホールを一括で管理運営している利点を生かし、ホール利用者や事業者の相談等に応じ、公演内容や目的に沿って、客席数・会場設備等も踏まえた最適なホール利用についての提案を行うなど、利用しやすく次回も利用したいと思えるようなホール運営を目指す。</p> <p>(3) 公演当日までホールに来る必要がなく、チケット販売開始後は、24時間、どこからでも手軽に購入手続きができる「QRコードチケット」の導入を予定している。</p>
自主事業その他サービス向上の取組	<p>(1) 呉市文化ホール 呉地域（呉市及び周辺地域等）で活動するアーティストへの演奏の場の提供と、地域の文化芸術活動を担う人材の育成のため、財団の登録アーティストを募集し、まちかど公演や学校への訪問演奏等のアウトリーチ活動を行う。</p> <p>(2) 呉市民ホール 地元出身アナウンサーと呉市立呉高等学校吹奏楽部とのコラボイベント「呉スマスの集い」、海上自衛隊と市民演奏家とのコラボによる「きまぐれコンサート」等の開催を予定している。</p>
経費縮減の取組	<p>(1) 外部委託等の経費は、安心・安全が確保できる条件のもとに、競争入札や複数年契約などを利用して、最大限の削減に努める。</p> <p>(2) 物品の購入については、競争入札や計画的な一括購入などにより、サービス向上と経費の削減が両立できるよう取り組む。</p>

7 団体（候補者）から提出された期間中の収支計画

別添「指定管理業務収支計画書」（参考資料4から6まで）のとおり

8 選定委員会による審査結果の概要

(1) 申請者

団体名	団体所在地	代表者氏名
公益財団法人呉市文化振興財団	呉市中央3丁目10番1号	理事長 明神 博

(2) 審査基準

募集方法が非公募であったため、申請要項においてあらかじめ示したとおり、採点による審査を行わず、基準ごとにその適否を審査したものです。

審査基準	判定
<p>ア 事業計画書等の内容が、利用しようとする者の平等な利用が図られるものであること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none">利用者の平等な利用の確保不当な利用制限項目の有無特定の者のみに有利な利用形態の有無	適・否
<p>イ 事業計画書等の内容が、施設の適切な維持及び管理が図られるものであること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none">休館期間中も含め、適正に管理を行える体制（人員配置等）適正かつ確実な維持管理施設の設置目的や性格、関係する法令、条例等についての理解苦情への対応や個人情報の取扱い事故・災害等の緊急事態に対応可能な体制	適・否
<p>ウ 事業計画書等の内容が利用促進が図られるものであること。</p> <p>市民の文化・芸術活動の振興及び市民交流の促進を図るものであること。</p> <p>呉市文化ホールの休館対策の内容が、休館中に予想される様々な影響を抑制するものであること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none">施設の利用促進に係る具体的な取組（サービス向上等）利用者数等の数値目標利用者の要望（ニーズ）把握に係る具体的な取組各施設の特徴を生かした独自性のある提案自主事業の内容市民の文化・芸術活動の振興及び市民交流の促進斬新さや独自性のある魅力的な提案休館終了後の事業（こけら落としイベント等）の内容呉市民ホールを始めとした市内の他の中規模ホール等を活用した事業提案市民交流や地域連携	適・否
<p>エ 事業計画書及び収支予算書の内容が、適切かつ管理経費の縮減が図られるものであること。</p> <p>【主な評価の視点】</p> <ul style="list-style-type: none">適切な収支計画書の規模・内容施設間の効果的な連携適切な提案額管理経費の縮減のための工夫	適・否

オ 施設の管理を安定して行う能力を有するものであること。 【主な評価の視点】 経営状況 安定した管理を行える体制（有資格者の配置等）	適・否
カ その他施設の設置目的又は性格等に応じて別に定める基準 【主な評価の視点】 職員の雇用についての考え方 市の施策との連携 地域住民への配慮	適・否
総合判定	適・否 ※否は失格

(3) 審査結果

申請者	公益財団法人呉市文化振興財団	【評価した点】 (1) 呉市文化ホール休館対策中の取組について、出張公演等の具体的な提案がされている。 (2) 文化・芸術の振興に向けて、地域との連携や人材育成など、積極的な提案がみられる。
総合判定	適	
【内訳】		
審査基準ア	適	
審査基準イ	適	
審査基準ウ	適	
審査基準エ	適	
審査基準オ	適	
審査基準カ	適	

(4) 選定委員会委員名簿

	氏 名	所 属 等
委員長	市川 一雄	呉市文化スポーツ部副部長
副委員長	朝倉 淳	広島大学名誉教授
委員	山田 知子	比治山大学現代文化学部教授
	松本 美幸	税理士
	吉田 実	公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部 地域づくりグループ長 主席研究員
	木村 茂緒	呉少年合唱団団長
	石原 純子	呉市文化団体連合会副会長

9 選定の理由

(1) 非公募での選定理由

現在、呉市文化ホールは、長寿命化に向けた調査及び大規模改修工事の基本設計を行っている段階であり、改修内容や休館期間等、今後の施設の管理運営における不確定要素が多いため、公募による指定管理者の選定を行うことが難しい状況であり、また、大規模改修に伴う休館期間中の対応（休館中の文化事業の実施、開館準備作業等）についても、効率的・効果的に進めていく必要があることから、両施設の管理運営に関するノ

ウハウや、知識・経験を有する公益財団法人呉市文化振興財団が管理運営をすることが効果的であるため、非公募により選定手続を行ったものです。

(2) 選定委員会での審査

公募により指定管理者の候補者選定を行う場合に準じて、民間の専門的な知識を有する有識者等を含む委員をもって組織する選定委員会により、指定管理者としての適否審査を行いました。

その結果、公益財団法人呉市文化振興財団が指定管理者として適当であると認められたため、当該団体を指定管理者の候補者として選定したものです。